

# 2024年2月期 第2四半期 決算説明資料



2023年10月10日

Can★Do

(証券コード:2698)

<https://www.cando-web.co.jp>

	プラス与件	マイナス与件
小売業界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィズコロナの下、ハレの日消費やコト消費の復活などによる個人消費の持ち直し</li> <li>・酷暑に伴う関連消費の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフレの進行</li> <li>・為替相場が円安基調で推移</li> <li>・エネルギー価格及び原材料の高騰</li> <li>・人手不足の顕在化</li> </ul>
当社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオングループ参入によるシナジー効果への期待値の上昇</li> <li>・他価格帯商品の取り扱い拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母店退店が多い</li> <li>・店舗の老朽化の進行</li> </ul>

	2021年11月期2Q (2020/12-2021/5)		2023年2月期2Q (2021/12-2022/5)		2024年2月期2Q (2023/3-2023/8)	
	金額	率	金額	率	金額	率
売上高	37,353	100.0	36,872	100.0	39,536	100.0
売上総利益	14,264	38.2	14,057	38.1	14,573	36.9
営業利益	1,044	2.8	475	1.3	212	0.5
経常利益	1,082	2.9	514	1.4	239	0.6
親会社株主に帰属 する四半期純利益	472	1.3	211	0.6	▲ 159	▲ 0.4
一株当たり 当期純利益	29.66 円		13.25 円		▲ 9.98 円	
会計期末 店舗数	1,128 店舗		1,214 店舗		1,260 店舗	

(※)決算期変更に伴い、前期以前の2Qは12～5月、今期の2Qは3～8月となります。

当社2024年2月期の売上高は、  
出店が当初計画を下回ったものの、  
直営店の既存店売上が好調に推移した為、  
当初予想を上回りました。

営業利益につきましては、上記の売上高の増加により、  
エネルギー価格及び原材料の高騰等があるものの当初予想を  
上回り、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益  
につきましても、当初予想を上回る結果となりました。

(単位:百万円、%)

	2024年2月期2Q 当初業績予想		2024年2月期2Q 実績		対比
	金額	率	金額	率	
売上高	39,000	100.0	39,536	100.0	101.4%
営業利益	47	0.1	212	0.5	451.6%
経常利益	76	0.2	239	0.6	315.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲ 334	—	▲ 159	—	—

2024年2月期の通期業績予想につきましては、  
ウクライナ情勢の長期化と為替の円安傾向や労働力不足に伴う  
人件費・求人費用の上昇等、不確定要素が多いことから、  
現時点において2023年4月11日に公表いたしました予想数値の  
変更はございません。

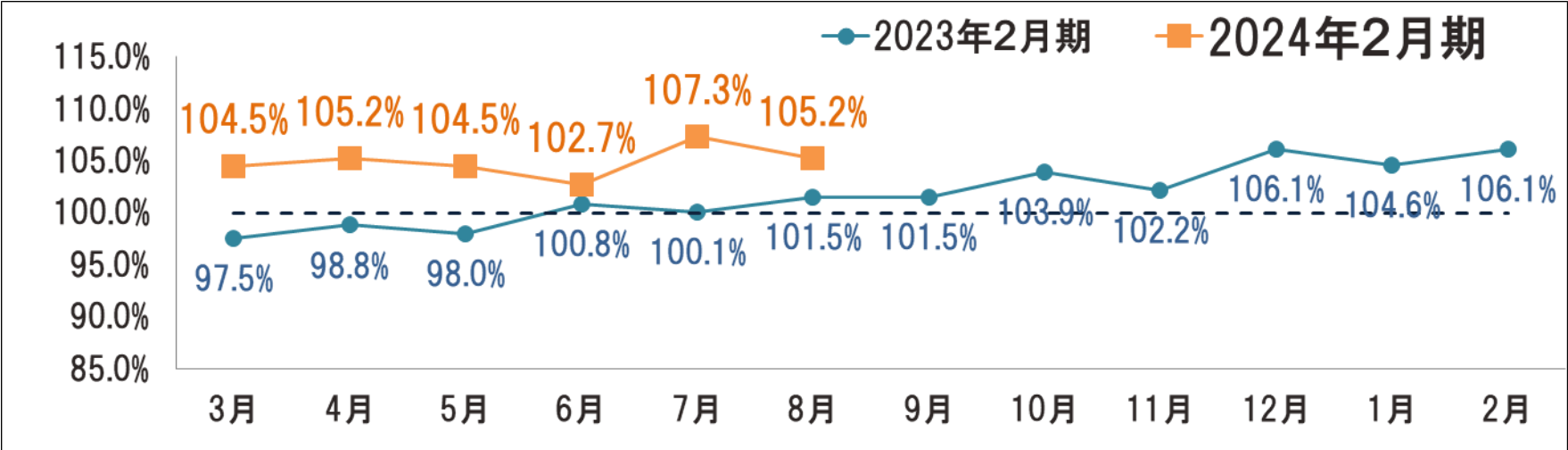
ただし、今後の情勢を鑑み、修正が必要な場合には、  
判明次第、速やかに公表いたします。

なお、今後の取り組みにおきましては、  
収益性の高い出店の促進、  
お客さまから支持される商品の追求、  
本部主導型オペレーションを導入することによる生産性の向上  
を図りながら、成長と利益確保の両立を目指してまいります。

(単位:百万円、%)

	2023年2月期 (2021/12-2023/2)		2024年2月期 (2023/3-2024/2) 業績予想	
	金額	率	金額	率
売上高	93,150	100.0	78,700	100.0
営業利益	538	0.6	27	0.0
経常利益	633	0.7	87	0.1
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲ 343	—	▲ 703	—





**2024年  
2月期2Q**

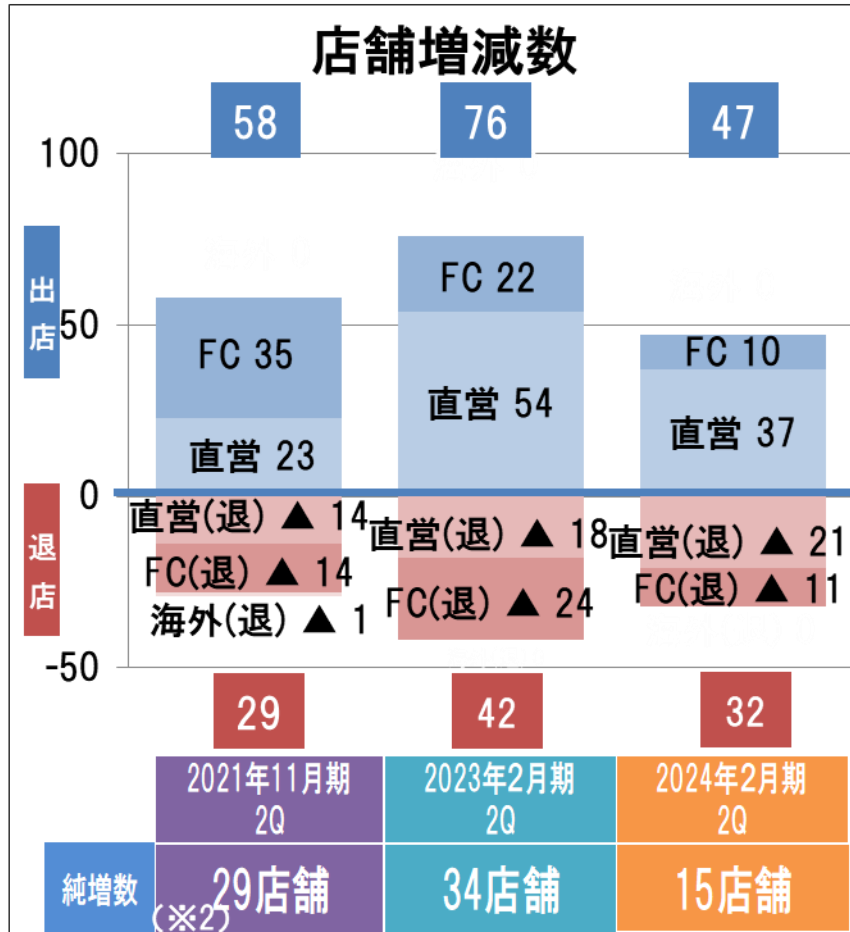
- 5~8月 105.1%
- 3~8月 104.9%

インフレ進行に伴う生活防衛意識の高まりと  
お客さまニーズに沿った趣味趣向品による集客増

外出・イベント・旅行の活性化に伴う

酷暑に対応する商品ニーズの高まり

## 出退店数の状況



### 出店・リニューアル

- 新規出店: 47店舗 (計画: 195/通期)  
直営37店舗(委託店含む(※1))、FC10店舗
- リニューアル: 21店舗

### 退店

- 32店舗 (計画: 108/通期)  
直営21店舗、FC11店舗

【増減】直営 +16店舗、FC ▲1店舗、海外FC ±0店舗

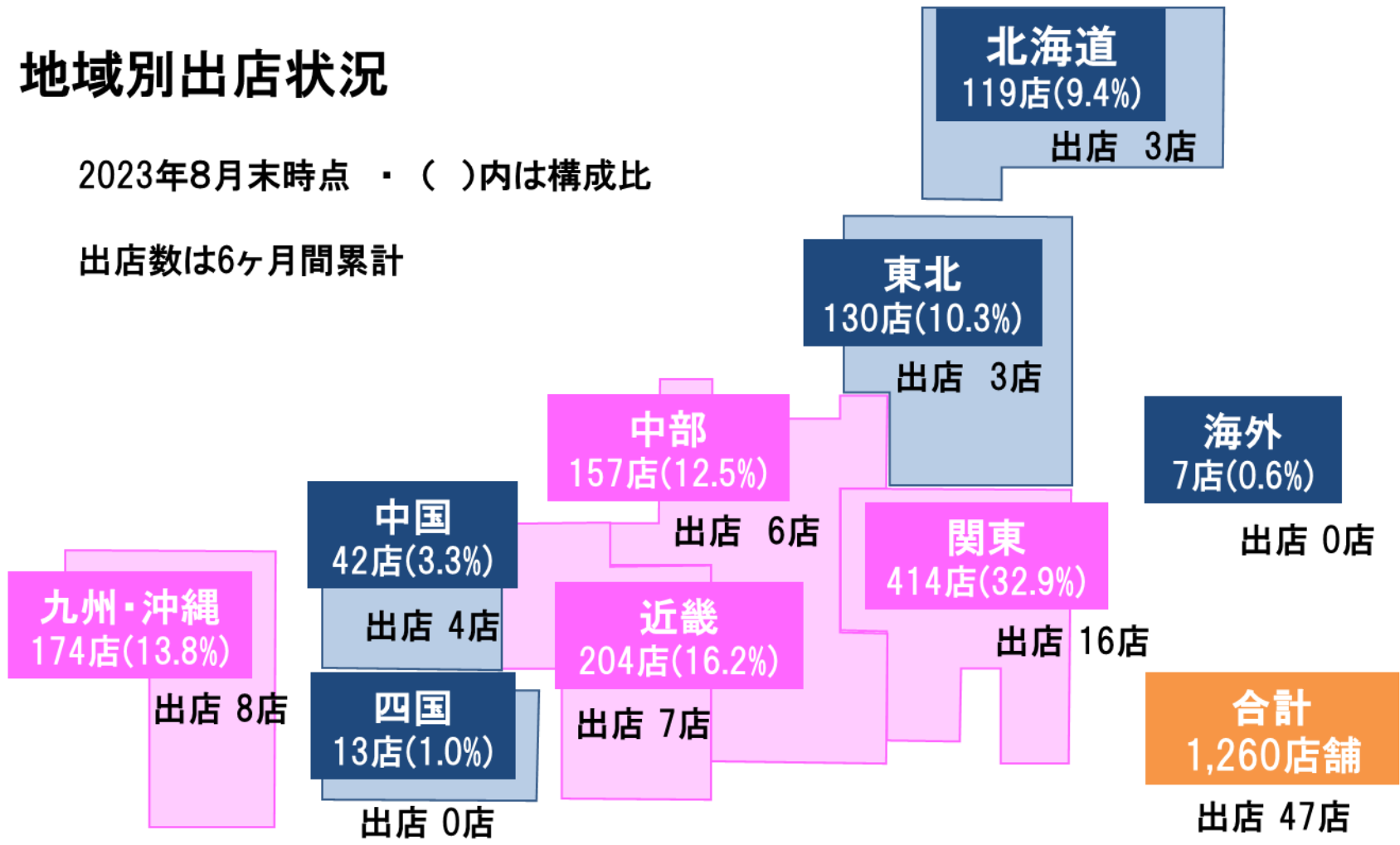
**1,260店舗**

(※1) 2021年11月期2Qより売上高の拡大と収益体質の強化を目的とした、委託店舗の出店をスタートさせました。  
 (※2) 売場規模が小さかった為、開示店舗数に含めていなかった、キャンドウセレクト計34店を2021年3月末より、現在店舗数に含めております。キャンドウセレクトとは、日用消耗品を中心に厳選した品揃えの店舗になります。

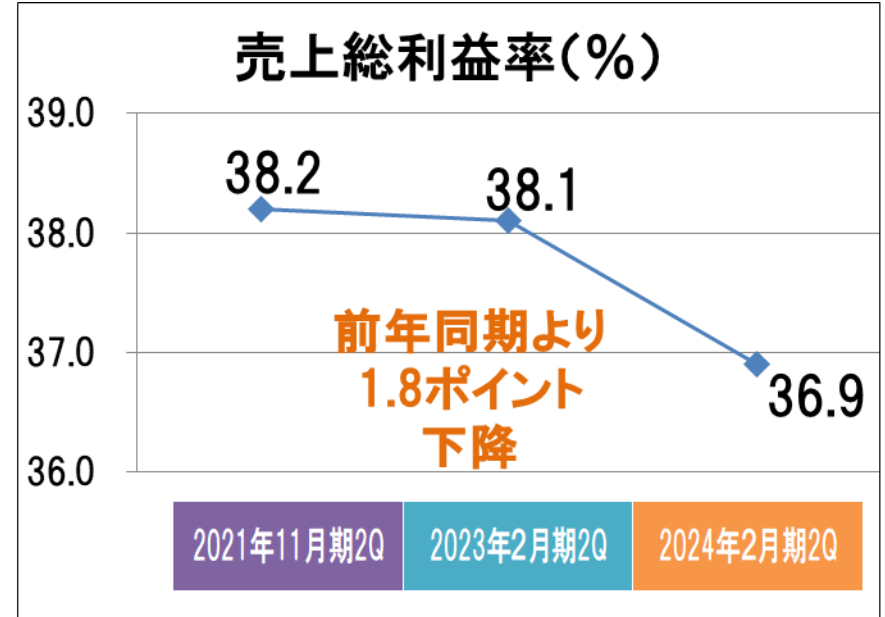
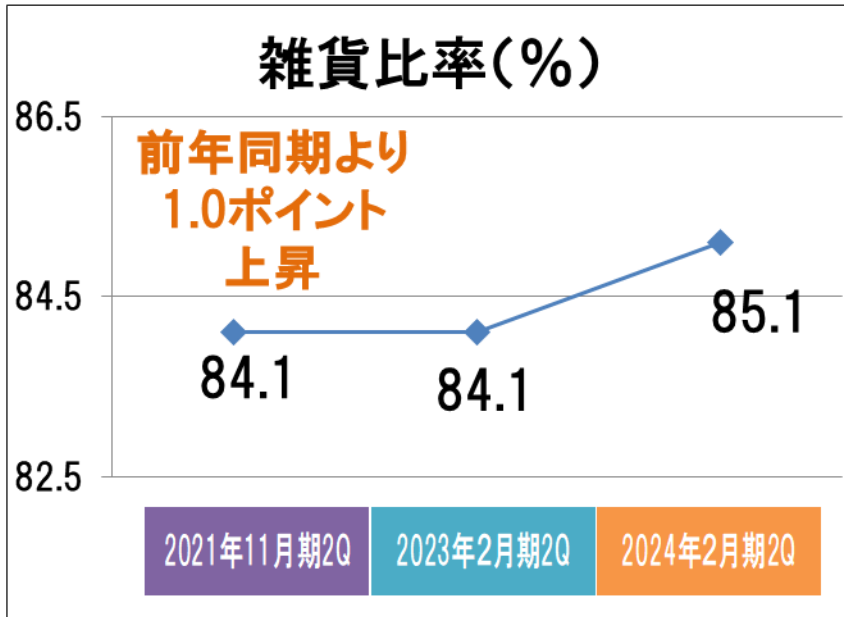
## 地域別出店状況

2023年8月末時点 ・ ( )内は構成比

出店数は6ヶ月間累計



# 売上総利益の内訳

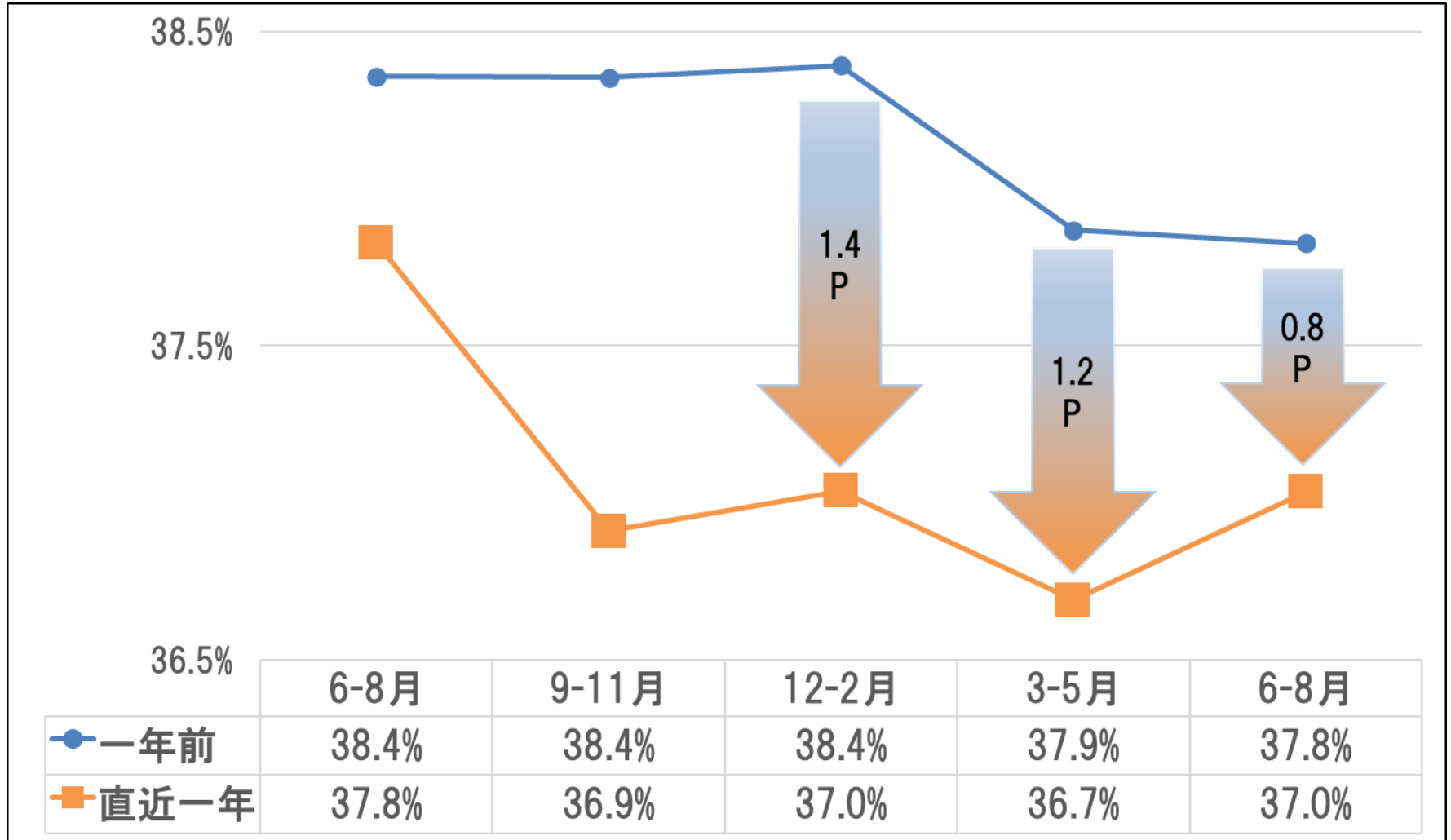


## 雑貨比率の変動

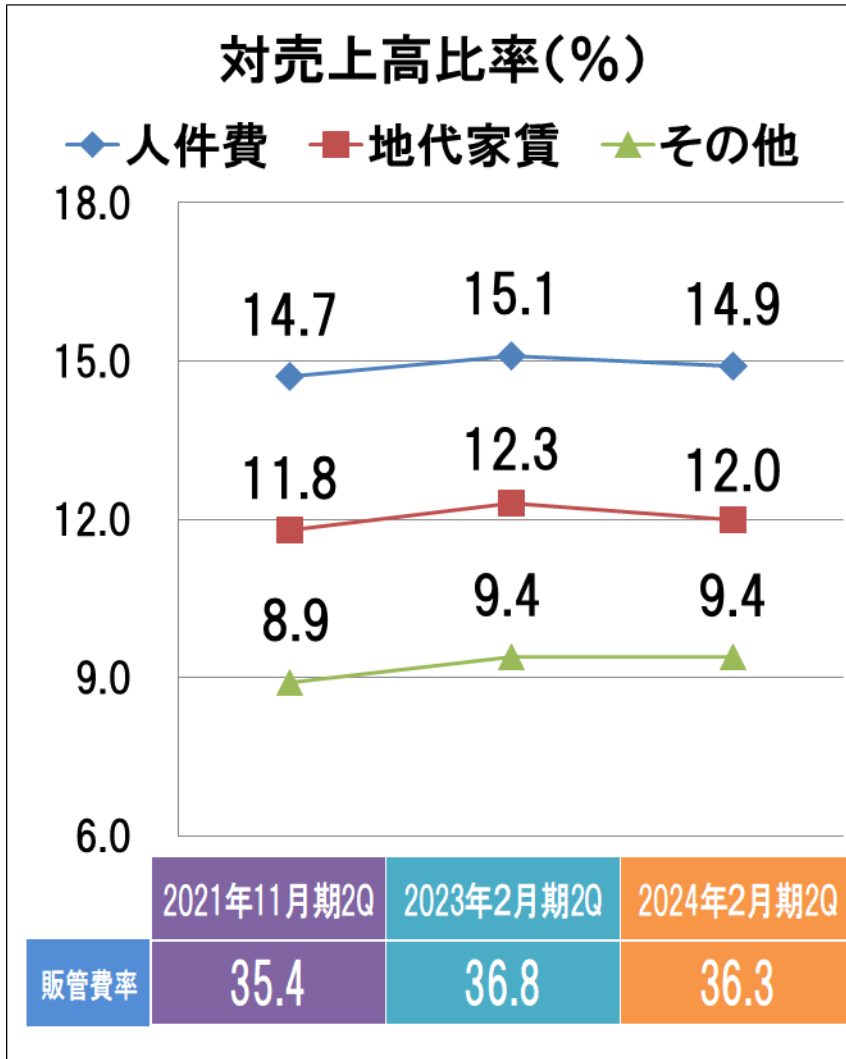
- 他価格帯商品の売上比率増加
- 計上時期の差異・・・2月は食品の売上高構成比が高い

## 売上総利益率の変動

- 円安進行
- エネルギー価格や原材料の上昇



## 販管費の内訳



### 人件費

- ・労働時間数の増加を伴わない売上高増加による人件費率低減

### 地代家賃

- ・売上高の伸長に伴い地代家賃比率が低下

### その他販管費

- ・クレジット等手数料、母店販促費増
- ・出店費、旅費交通費の増加

**販管費率▲0.5ポイント**

# 連結貸借対照表の状況

(単位:百万円)	2023年 2月期	2024年 2月期2Q	前年 増減額		2023年 2月期	2024年 2月期2Q	前年 増減額
流動資産合計	14,243	14,879	635	流動負債合計	11,387	12,711	1,324
現金及び預金	3,050	2,184	▲ 865	仕入債務	9,035	10,045	③ 1,010
売上債権・未収入金	3,139	3,708	① 568	その他流動負債	2,352	2,666	314
商品	7,383	8,314	② 930	固定負債合計	4,727	4,757	29
その他流動資産	670	671	1	退職給付に係る負債	2,321	2,459	138
有形固定資産合計	6,258	6,431	173	資産除去債務	1,885	1,810	▲ 74
建物及び構築物	5,180	5,314	133	負ののれん	161	142	▲ 19
その他有形固定資産	1,077	1,117	40	その他固定負債	358	343	▲ 14
無形固定資産合計	314	261	▲ 52	負債合計	16,114	17,468	1,354
投資その他の資産合計	7,396	7,626	229	資本金	3,028	3,028	0
敷金及び保証金	5,557	5,681	123	資本剰余金	3,089	3,103	14
その他投資その他の資産	1,838	1,944	106	利益剰余金	6,991	6,708	▲ 282
固定資産合計	13,968	14,319	350	自己株式	▲ 1,138	▲ 1,117	20
資産合計	28,212	29,198	986	その他の包括利益累計額	127	7	▲ 120
				新株予約権	—	—	—
				純資産合計	12,097	11,730	▲ 367
				負債純資産合計	28,212	29,198	986

※対前年増減額が大きな項目について、その主なものを以下に記載

- ① 未収入金の増加 413百万円
- ② 商品の増加 930百万円
- ③ 電子記録債務の増加 365百万円、買掛金の増加 645百万円

# 設備投資の状況

「ライフスタイル提案型ショップ(New Can★Do)」フォーマットによる新規出店・リニューアルを推進しました。また、生産性向上を図るべく、情報システム関連投資の検討を進めております。

(単位:百万円)

	2023年2月期2Q	2024年2月期2Q
設備投資額	423	1,033
減価償却費	561	486

## ◆主な設備投資内訳

(単位:百万円)

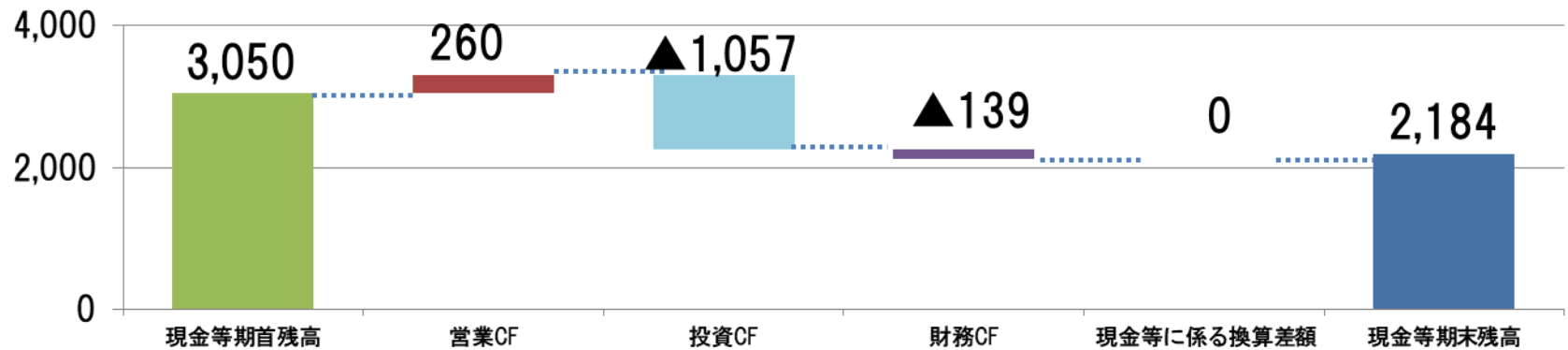
	2023年2月期2Q	2024年2月期2Q
直営新規出店・ 既存店リニューアル等	389	(※) 1,020
情報システム関連投資	33	13
合計	423	1,033

(※)1案件あたりの設備投資金額抑制施策効果も含む



# 連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)	2023年2月期2Q	2024年2月期2Q	増減
営業キャッシュ・フロー	1,053	260	▲ 793
投資キャッシュ・フロー	▲ 637	▲ 1,057	▲ 419
財務キャッシュ・フロー	▲ 138	▲ 139	▲ 0
現金・現金同等物換算差額	0	0	▲ 0
現金・現金同等物期首残高	3,159	3,050	▲ 109
現金・現金同等物期末残高	3,436	2,184	▲ 1,251



## ●営業キャッシュ・フローの内訳●

税金等調整前当期純利益▲31百万円に対して、  
 加算項目は減価償却費486百万円、仕入債務の増加1,027百万円  
 減算項目は未収入金の増加413百万円、法人税等の支払額62百万円等

2024年2月期

中期計画実現へ向けた取り組み

## 方針：イオングループとの協業によるお客さま満足最大化

### 「販路の拡大」

- ・ [出店]利益が出る出店でお客さまの利便性の向上
- ・ [既存店]既存店の改装で利益体質を強化してお客さまの利便性を更に向上

### 「商品・ブランドの差別化」

- ・ [商品]お客さまから支持される商品の追求
- ・ [ブランド]品揃えと発信を確立した新たなライフスタイル提案型ショップへの進化

### 「企業価値の向上」

- ・ [成長]イオングループとのシナジーによる成長性の確立
- ・ [利益]デジタルシフトによる生産性の飛躍的な改善

イオングループとのシナジーを最大化＝成長と利益確保の両立

**2024年2月期全社方針：「成長と生産性向上による利益確保」**

① 既存店売上の引上げ	… お客さま満足の根幹となる 売上高の創出
② 「ライフスタイル提案型ショップ(New Can★Do)」 による出店・リニューアルの推進	… 出店競争激化への対応
③ 本部主導型オペレーションの導入と 店舗活性化の推進	… 既存店の潜在力を引き出しつつ お客さまへの発信を徹底
④ 他価格帯商品の拡販	… お客さまに支持される商品の 供給によるブランド価値向上
⑤ 更なる成長のための基盤整理 (制度改革＋人材育成)	… イオングループのノウハウ活用 による経営の質の向上

# 2024年2月期の具体的取り組み：I

## 『販路の拡大』

## 方向性:

- ・グループアセットを活用しシナジーを最大化させる
- ・業態をブラッシュアップし、DVから選ばれる専門店へと変革する

### 変革

①

＜ブランドコンセプトをリニューアル＞

従来からのお客さまが「発見」する楽しさに加えて、お客さまへ楽しさを「発信」するスタイルへ

### 変革

②

＜「ライフスタイル提案型ショップ」へイメージ刷新＞

見栄えする空間デザイン、店装やVP提案等を一新

### 変革

③

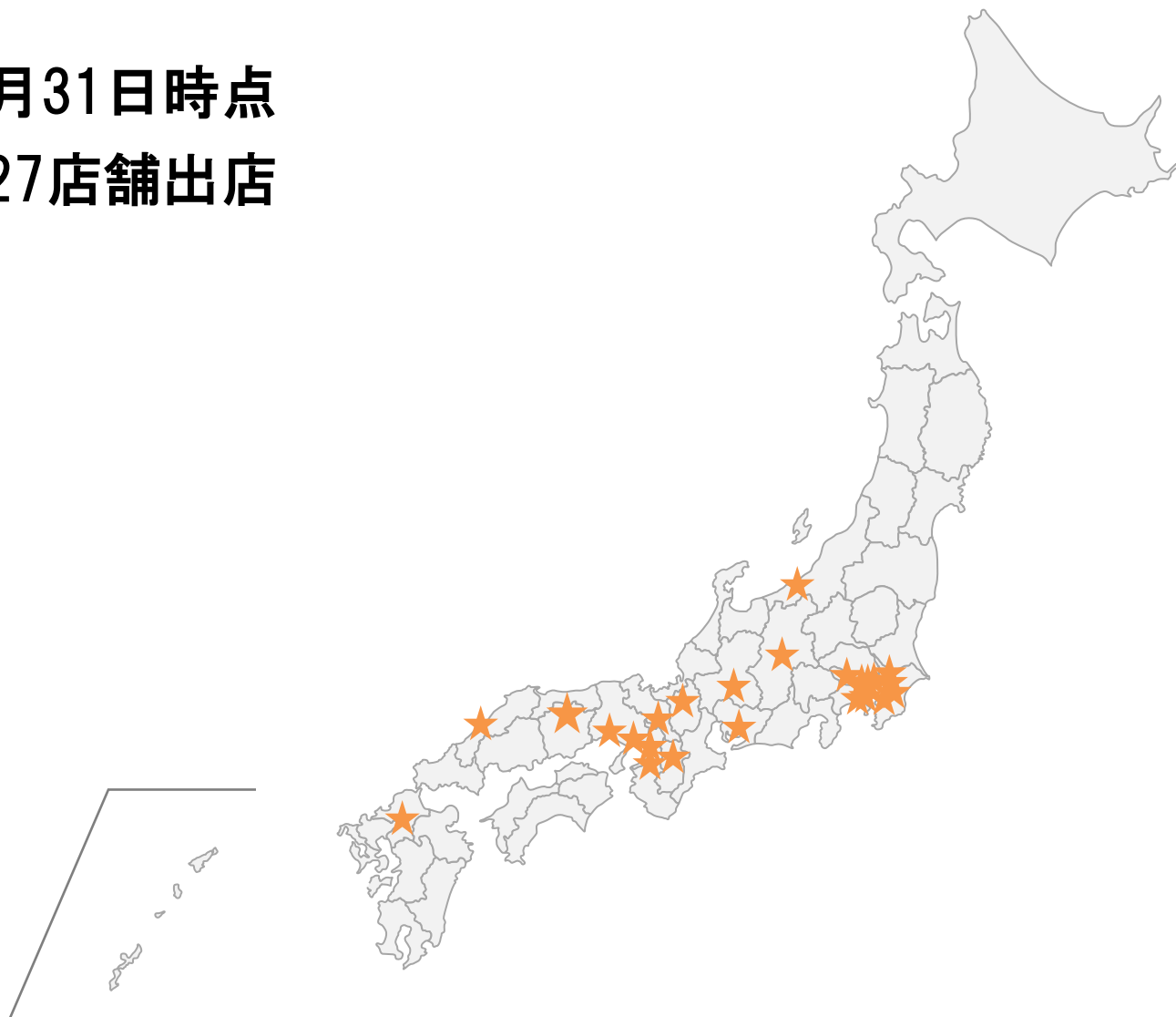
＜品揃えの強み「趣味趣向品」を拡充＞

キャンドウオリジナル/ディズニーグッズの発売と売場のコーナー訴求

イオンスタイル赤羽店  
(東京都・2023年7月25日オープン・150坪)



2023年8月31日時点  
27店舗出店





## 本部主導型 の姿

### <目的>

- ・ 既存店の潜在力を引き出しつつ、お客さまへ体験価値の発信を徹底することにより、お客さま満足の向上を実現

### <手段>

- ・ 本部と店舗の役割を明確にした「本部主導型オペレーション」導入

#### ～本部の役割～

- ・ 「売れ筋商品が確実に棚に並ぶ」状態にするため、「品揃え（什器構成・レイアウト）」と「棚割り」を構築し、常にブラッシュアップ

#### ～店舗の役割～

- ・ 陳列、ディスプレイ、接客、サービスなどを通じたお客さまへの「発信」の徹底により、お客さまへ感動をお届けし、店舗でしか成し得ない「お客さまの体験価値の向上」を創り出す

# 2024年2月期の具体的取り組み：Ⅱ

## 『商品・ブランドの差別化』

## ① 生活必需品の維持

トラベルシリーズ



スマホケース&ストラップ



暑さ対策グッズ



ペットボトルホルダーショルダータイプ



## ② 趣味嗜好品の拡大

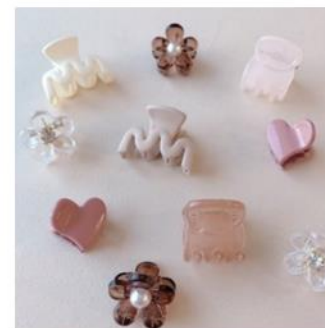
くまのプーさんシリーズ



ディズニーネイルシリーズ



ミニバンス



プリンセスグッズ



## ③ 環境に配慮した商品

バガスを50%以上配合  
ペーパータオル150枚入



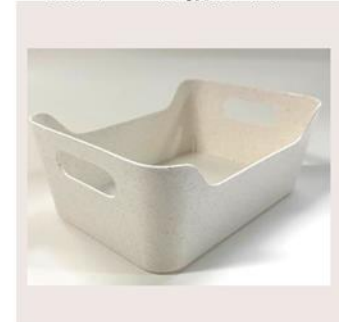
ごみを分別  
分別はさみ



発送コスト削減・少緩衝材  
段ボールリサイズカッター



麦わらを配合  
キッチン収納ボックス



イオングループは、環境問題やエコに対する取り組みを重要視しています。  
当社も、この方針に則って、環境に配慮した商品開発をして参ります。

- ・バイオマス素材の商品やフードロスを削減できる商品
- ・分別や再資源化に適した商品
- ・パッケージにも配慮した商品

・フォロワー数は、2023年8月現在、80万人超

・国内企業ランキングは、74位(対象10,000社超)

・お洒落な画像による商品活用シーン提案

Thanks! 800k



エンジェルブルー



埴輪・土偶シリーズ



スマホストラップホルダー  
くま&パンダ



中華靴下





- ・イメージ訴求のInstagramに対し、情報量を優先するXですみ分け
- ・メディアで取り上げられた商品もリツイート
- ・押し活アイテムなどTwitterユーザーに親和性の高い商品を紹介

うる星やつらシリーズ



少年アシベコラボ



コジコジコラボ



タヌキとキツネ



# 2024年2月期の具体的取り組み:Ⅲ

## 『企業価値の向上』

## 企業価値の向上 進行中の案件(一例)

利便性向上	WAON導入による「イオン生活圏における“つながり”の創出」への参入
コスト低減	什器・備品などをイオングループとの共同仕入れで調達
先行投資	IT・デジタル化によるシステムの刷新



# Appendix

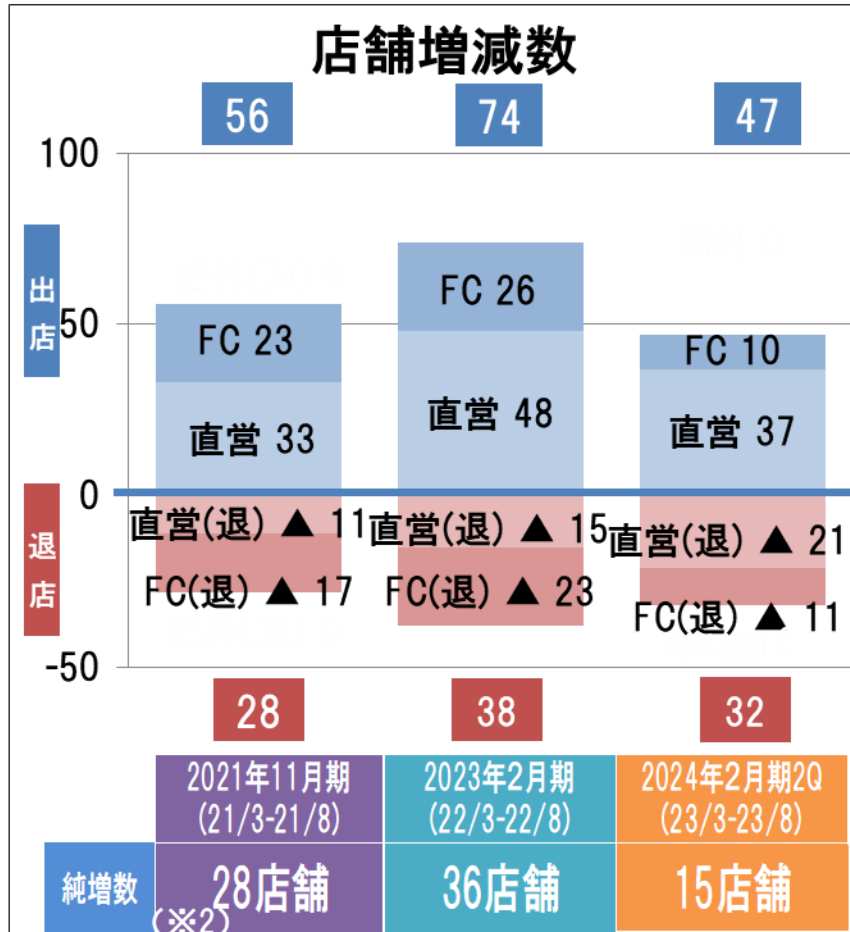
## 各期同月累計(3-8月)推移について

(単位:百万円、%)

	2021年11月期 (2021/3-2021/8)		2023年2月期 (2022/3-2022/8)		2024年2月期2Q (2023/3-2023/8)		前年 同月 (3～8月) 比
	金額	率	金額	率	金額	率	
売上高	36,280	100.0	36,840	100.0	39,536	100.0	107.3
売上総利益	13,866	38.2	13,943	37.8	14,573	36.9	104.5
営業利益	385	1.1	199	0.5	212	0.5	106.6
経常利益	418	1.2	239	0.6	239	0.6	100.3
親会社株主に帰属 する四半期純利益	▲ 15	▲ 0.0	▲ 51	▲ 0.1	▲ 159	▲ 0.4	—
一株当たり 当期純利益	▲ 0.96 円		▲ 3.22 円		▲ 9.98 円		—
会計期末 店舗数	1,141 店舗		1,233 店舗		1,260 店舗		27店舗

(※)決算期変更に伴い、前期以前の2Qは12～5月、今期の2Qは3～8月となります。

## 出退店数の状況(各期3~8月累計推移)



### 出店・リニューアル

- 新規出店: 47店舗(計画: 195/通期)  
直営37店舗(委託店含む(※1))、FC10店舗
- リニューアル: 21店舗

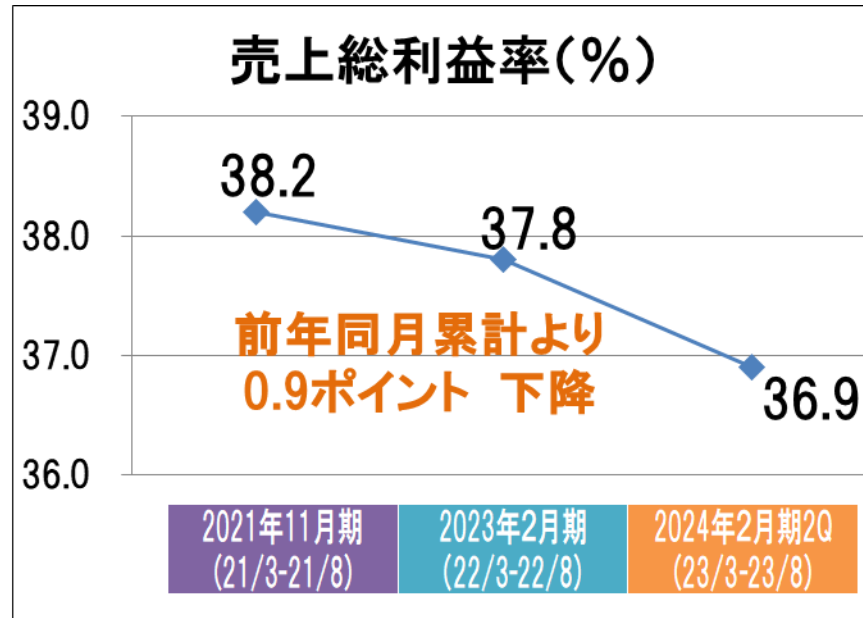
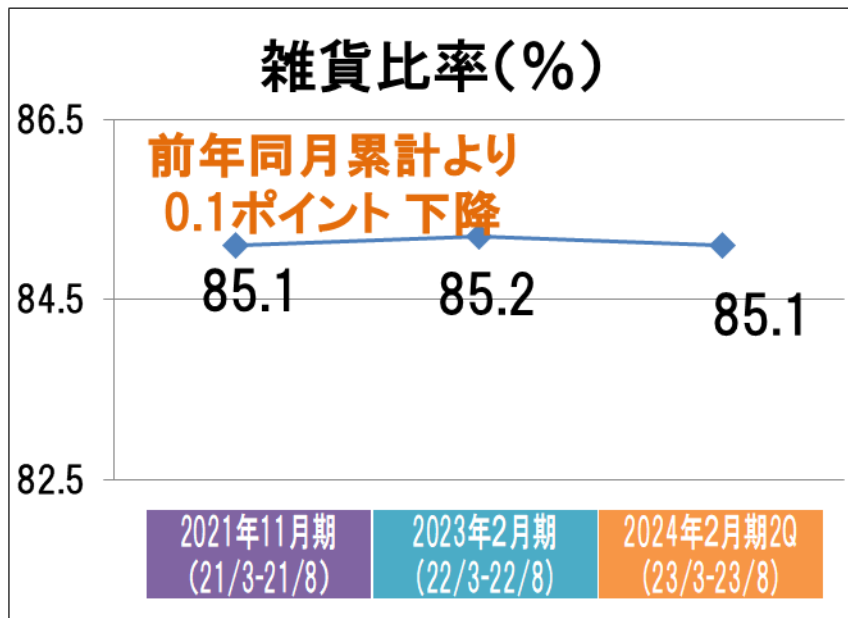
### 退店

- 32店舗(計画: 108/通期)  
直営21店舗、FC11店舗

【増減】直営 +16店舗、FC ▲1店舗、海外FC ±0店舗

## 1,260店舗

(※1)2021年11月期2Qより売上高の拡大と収益体質の強化を目的とした、委託店舗の出店をスタートさせました。  
 (※2)売場規模が小さかった為、開示店舗数に含めていなかった、キャンドウセレクト計34店を2021年3月末より、  
 現在店舗数に含めております。キャンドウセレクトとは、日用消耗品を中心に厳選した品揃えの店舗になります。



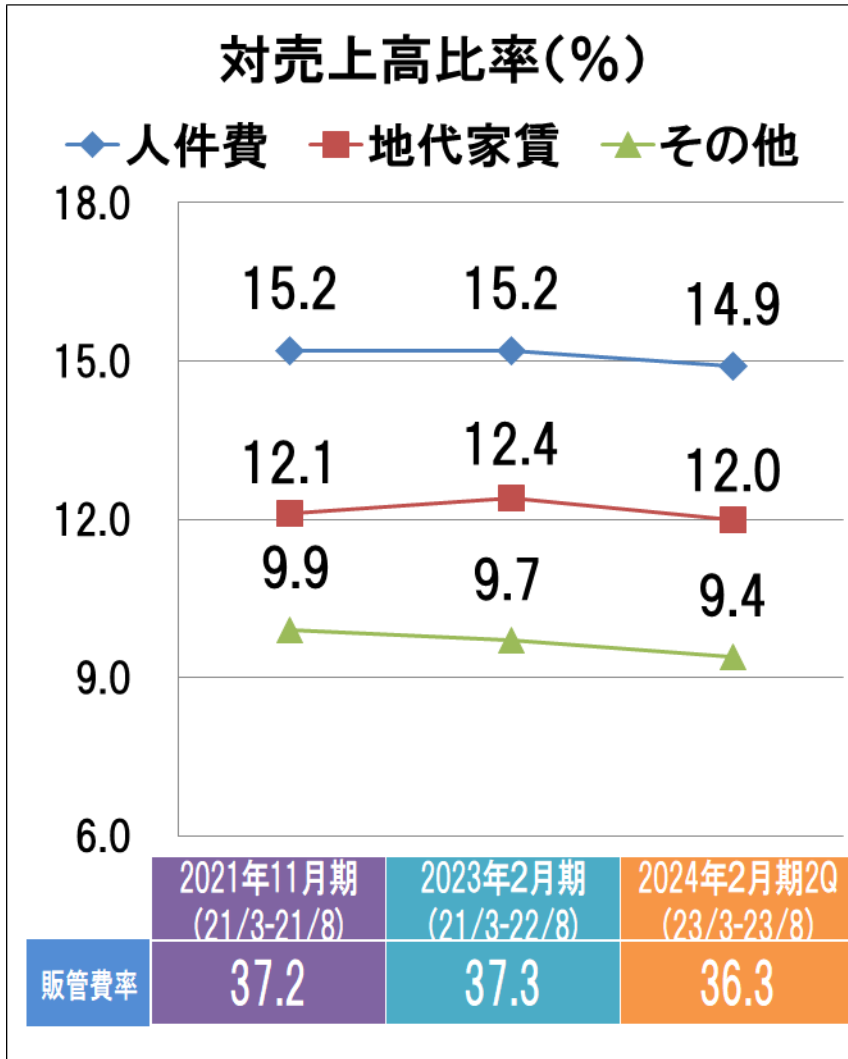
## 雑貨比率の変動

- 他価格帯商品の売上比率増加
- 食品のニーズが復活

## 売上総利益率の変動

- 急激な円安進行
- エネルギー価格や原材料の上昇

# 販管費の内訳(各期3～8月累計推移)



## 人件費

- ・労働時間数の増加を伴わない売上高増加による人件費率低減

## 地代家賃

- ・売上高の伸長に伴い地代家賃比率が減少

## その他販管費

- ・クレジット等手数料、母店販促費増
- ・水道光熱費、旅費交通費の増加

販管費率▲1.0ポイント

「ライフスタイル提案型ショップ(New Can★Do)」フォーマットによる新規出店・リニューアルを推進しました。また、生産性向上を図るべく、情報システム関連投資の検討を進めております。

(単位:百万円)

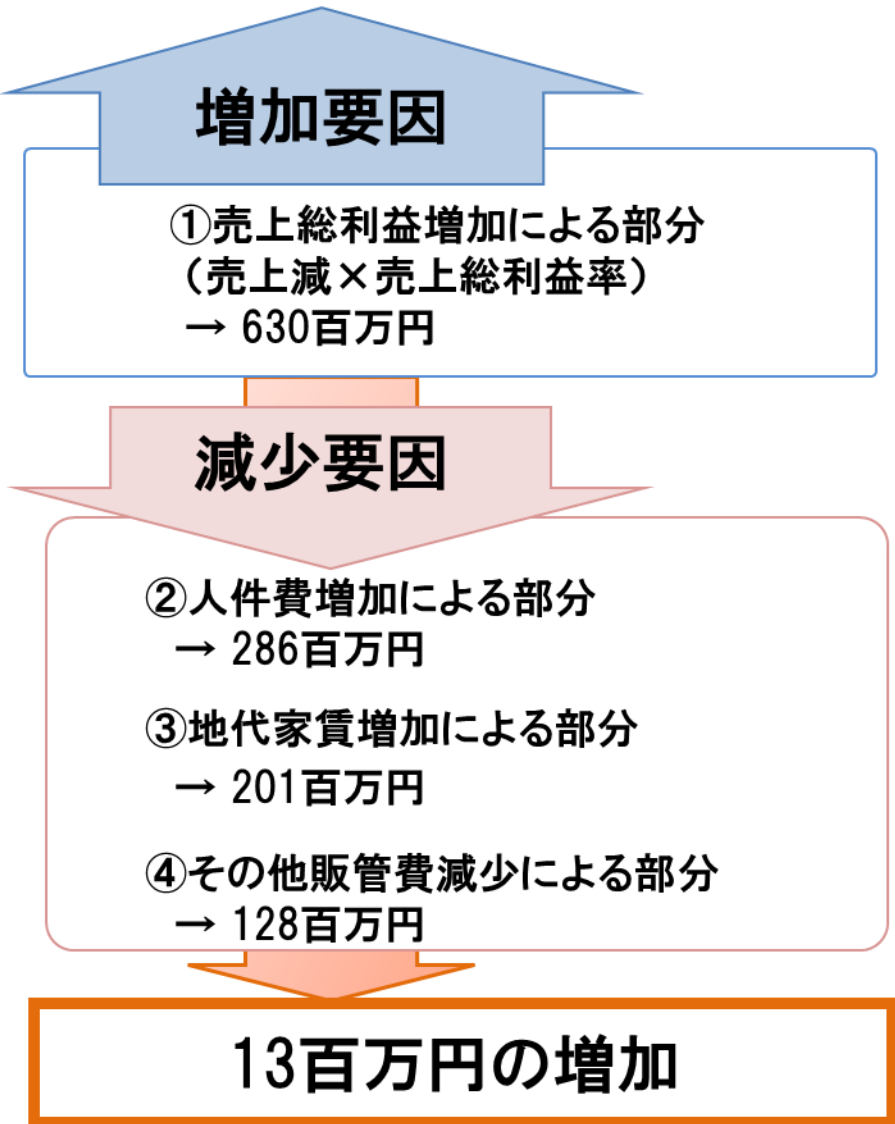
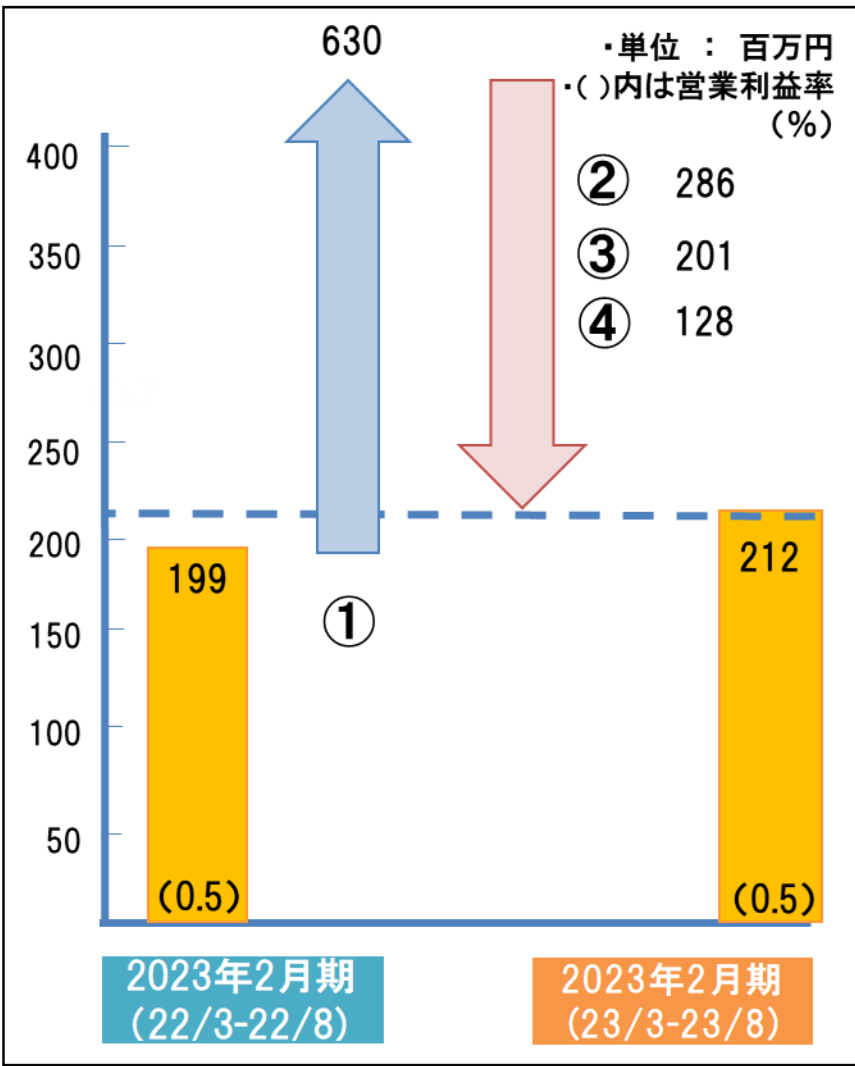
	2023年2月期(22/3-22/8)	2024年2月期2Q	増減
設備投資額	473	1,033	560
減価償却費	577	486	▲ 90

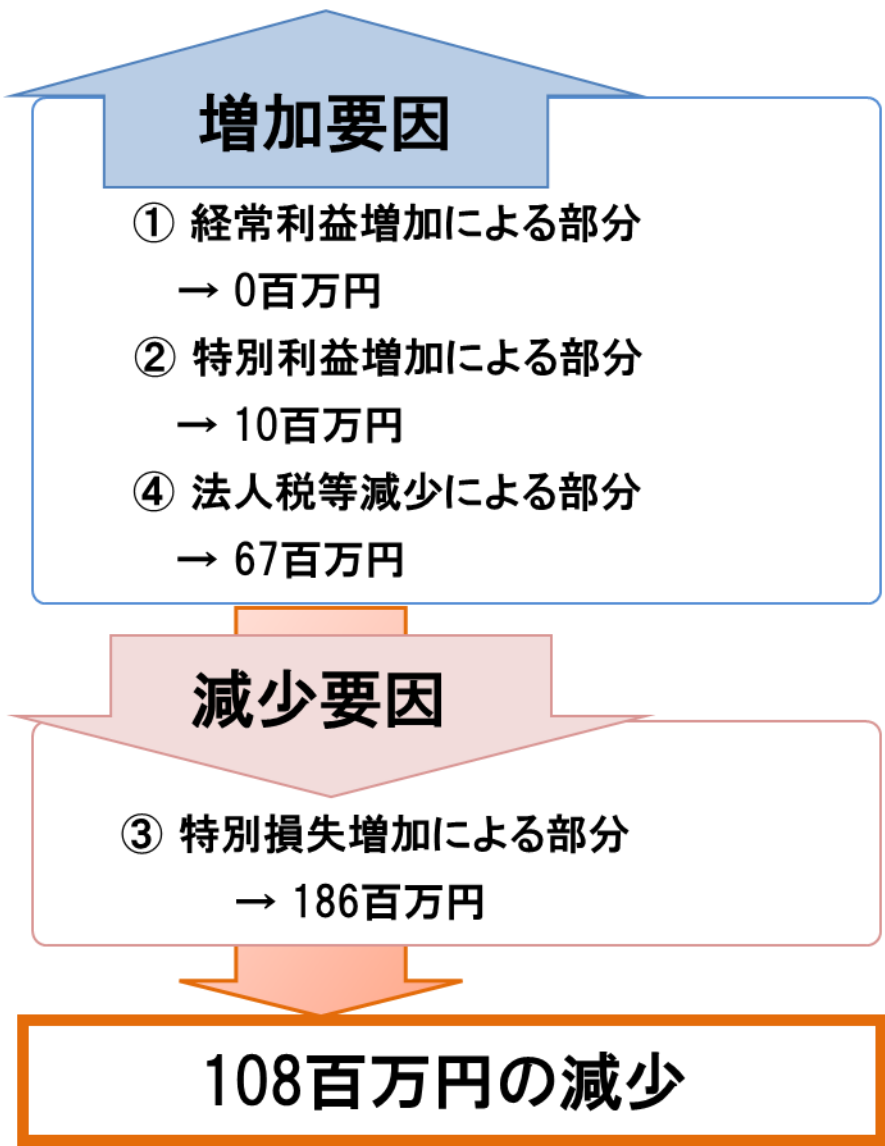
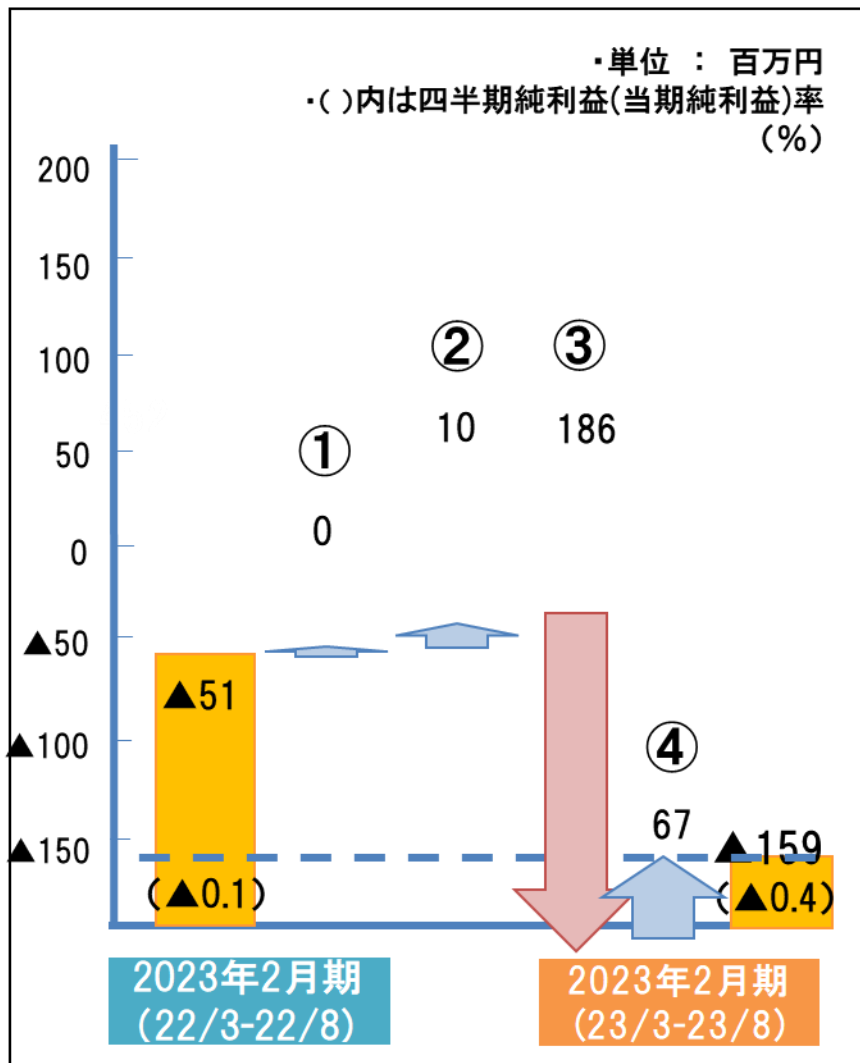
## ◆主な設備投資内訳

(単位:百万円)

	2023年2月期(22/3-22/8)	2024年2月期2Q	増減
直営新規出店・ 既存店リニューアル等	425	(※) 1,020	594
情報システム関連投資	47	13	▲ 34
合計	473	1,033	560

(※)1案件あたりの設備投資金額抑制施策効果も含む







## 【 ご注意 】

本資料に掲載されている株式会社キャンドウの現在の計画、見通し、戦略、認識、評価、想定等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から株式会社キャンドウの経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、様々な重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにより全面的に依拠することはお控えいただくようお願いいたします。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願い申し上げます。